

3月20日 知事の会見における発言要旨

- 連休中にも関わらずお集まりいただき、真にありがとうございます。本日は、東北地方太平洋沖地震に関する支援対策について、説明させていただきます。

(発災以来の動き)

- この度の大震災につきましては、3月11日の発災以来、9日が経過し、ようやく被害の全貌が見えるようになりつつあります。その中で、とりわけ被災地域におけるガソリンなどの燃料の不足や様々な物資の不足が明らかになりつつあります。岩手、宮城、福島各県で数十万人もの多数の避難者の方々が厳しい環境の中で、ご苦労されていることが報道されております。

(個人からの物資提供の受付)

- このような動きをご覧になった県民の皆様からは、被災された方々のため、「自分も何か役に立ちたい。」との強い思いから、県に対しても被災地域に物資を送りたいとのご相談が多くきております。
- 本県では、現地での受け入れ体制が未だ整っていないこと、個人の方々からの少量で様々な物品については現場の混乱を招き、結果として無駄になってしまう可能性が高いことから、これまで、県として受け付けることをお断りしてまいりました。
- しかしながら、これまで全力をあげてきた県の備蓄物資の送付のめどもたってまいりましたので、県民の皆様のご要望にお応えして、個人の方々からご提供いただく物品についても、受け付けることといたし

ました。

- お手元の資料をご覧ください。受付させていただく品目は、現場で混乱を招かないよう、真に被災地域から求められている品目に絞り込んで、缶詰等の保存食、粉ミルク、紙おむつなどの7品目とさせていただきました。腐敗しやすい生ものや、古着などの類は受け付けませんので、県民の皆様におかれては、なにとぞご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
- 受付は、3月22日の午前9時から、県民事務所と県民センターにおいて行うことといたしました。また名古屋市始め県内各市町村におきましても条件が整ったところから、順次受け付けていただけるように、お願いをしております。
- これらの物品につきましては、集まりました段階で、県からトラックを派遣して、集約して被災地域に送ることにしております。

(被災県民の受け入れ)

- ところで、被災地域の各県の皆さんが、続々と近隣県を中心に他県に避難されております。福島原発の事故の影響もあって、今後さらに県外に避難される方が増加するものと思われまます。
- そこで、本県といたしましても、被災地域から避難される方々を積極的に受け入れる必要があると考えております。
- すでに県営住宅への受け入れなどを始めておりますが、被災された地域からの県民の皆様の受け入れにあたりましては、住宅の確保、子供たちの教育などの生活の支援、働き口の斡旋など、多岐にわたる様々な相談、援助が必要であります。

- また、被災地域の各県や受け入れ先市町村等関係機関との調整も必要となりますので、既に発足した被災地域支援対策本部に被災地域から本県に避難されてこられた方々を積極的に支援するためのプロジェクトチームを早急に立ち上げ、県をあげて、被災者の方々を応援することといたしました。
- なお、受け入れの規模、方法やプロジェクトチームの具体的体制は現在検討中であり、まとめ次第、皆様にお伝えしてまいります。